

山田みやこの活動報告

令和元年11月25日(月)

連合議員懇談会主催 地域交流会 政策研究会が矢板市で開催

視察 1

とちぎフットボールセンターの現地視察

矢板市はサッカーが盛んで、小中高校生、社会人も全国的に活躍している。そこで「スポーツで街づくり」のもと、矢板市が日本たばこ産業(株)から矢板倉庫跡地を取得した。当初計画は財政負担が多く厳しい状況だったが、サッカー関東リーグ1部「ヴェルフェたかはら那須」を運営するNPO法人たかはら那須スポーツクラブの提案で計画は進展した。

敷地の2/3の28,500㎡をNPO法人たかはら那須スポーツクラブと矢板市が10年の借地契約をし、NPOが整備、維持管理、運営費用を担う。土地借地代と固定資産税は矢板市が負担する(民設民営)



視察 2

エコパークしおや

矢板市・さくら市・塩谷町・高根沢町(2市・2町)で構成する。

- ①エネルギー回収型廃棄物処理施設
- ②マテリアルリサイクル推進施設
- ③地元への還元として余熱利用施設

※エコパークしおやの会場において齋藤 淳一郎矢板市長の講演「2016～2020年の矢板創生10大ニュース」

- 1)八板南産業団地の当初分譲分完売
- 2)3セクで「道の駅やいた」再生スタート
- 3)林業成長産業化モデル地域に県内初指定
- 4)民設民営でフットボールセンターオープン
- 5)八方ヶ原「おしらじの滝」に注目集まる
- 6)文化庁「日本遺産」に市内の文化財認定
- 7)八板スマートICの整備工事 順調に推移
- 8)国道4号 矢板大田原BP新規事業化へ
- 9)「矢板市子ども未来基金」で子育て支援
- 10)ふるさと納税の額は県内第1位に

エコパークしおや



塩谷広域行政組合